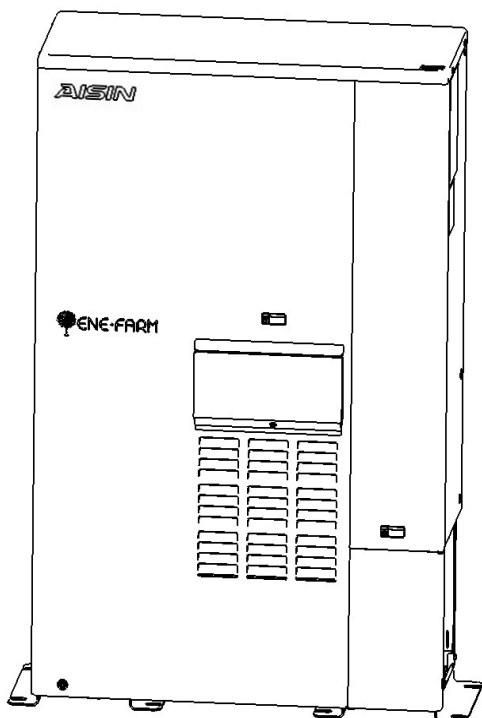


エネファーム type S 燃料電池ユニット

商品仕様	型式	ガスの種類
自立運転機能付き	FCCS07B1NJ	都市ガス13A
	FCCS07B1PJ	LPガス
標準モデル	FCCS07B1N	都市ガス13A
	FCCS07B1P	LPガス



目次

特長	1	使用の前
仕様について	3	
安全に正しくお使いいただくために 必ず守ってください	4	
ラベルの貼付け位置と記載内容	11	
各部のなまえとはたらき	12	運転
ご使用方法	13	
・ ご使用前の確認・準備	13	
・ リモコンの操作説明	14	
・ 基本操作の説明	16	
・ 運転・停止について	22	
・ 停電のときは	23	
お手入れと周囲の確認	24	お手入れ
点検に関して	24	停電時
災害時にお湯を使う （災害時などにタンクから お湯を取り出す）	25	
停電時に電気とお湯を使う	26	自立運転機能
1. 停電前に	28	
2. 停電が発生した時	29	
故障・異常かな?と思ったら	34	知っておくべきこと
エラー表示について	35	
エラー発生時の処置方法について	38	
長期間使用しない場合	40	
外形図	43	
アフターサービスと保証について	44	

このたびはアイシン精機のエネファームtype S燃料電池ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この取扱説明書での機器の呼びかた
 - ・ 燃料電池ユニットを発電ユニット、燃料電池ユニットと熱源機を合わせたシステムをエネファームと呼びます。
 - ・ リモコンは、台所リモコンと浴室リモコンがあります。
- 安全についての注意事項を記載しておりますので、必ずお守りください。
- お読みになった後、いつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が変わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。この取扱説明書には巻末に保証書がついています。大切に保管してください。
- 別冊の熱源機およびリモコンの取扱説明書とあわせてご覧ください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

特長

この機器は専用の熱源機と組み合わせて使用することで、電気および熱を供給します。

- ★ 発電ユニットから発生する排熱は約30℃以下の水として熱源機に供給され、熱源機にて設定温度に調整されて給湯されます。
- ★ 発電ユニットで作られた電気は家庭内（照明、テレビなど）で使用できます。
- ★ 発電ユニットで作られた電気を優先的に使用し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。
- ★ 異常がある場合はリモコンにエラーを表示してお知らせします。
- ★ 発電ユニットの操作は、熱源機の台所リモコンおよび浴室リモコンで行います。
- ★ 断水時や地震など万一の災害時には、貯湯タンクのお湯（水）を雑用水として利用できます。但し、断水時でも発電を続けますので、貯湯タンク内の水を使用する場合は、発電ユニットが停止していることを確認してください。

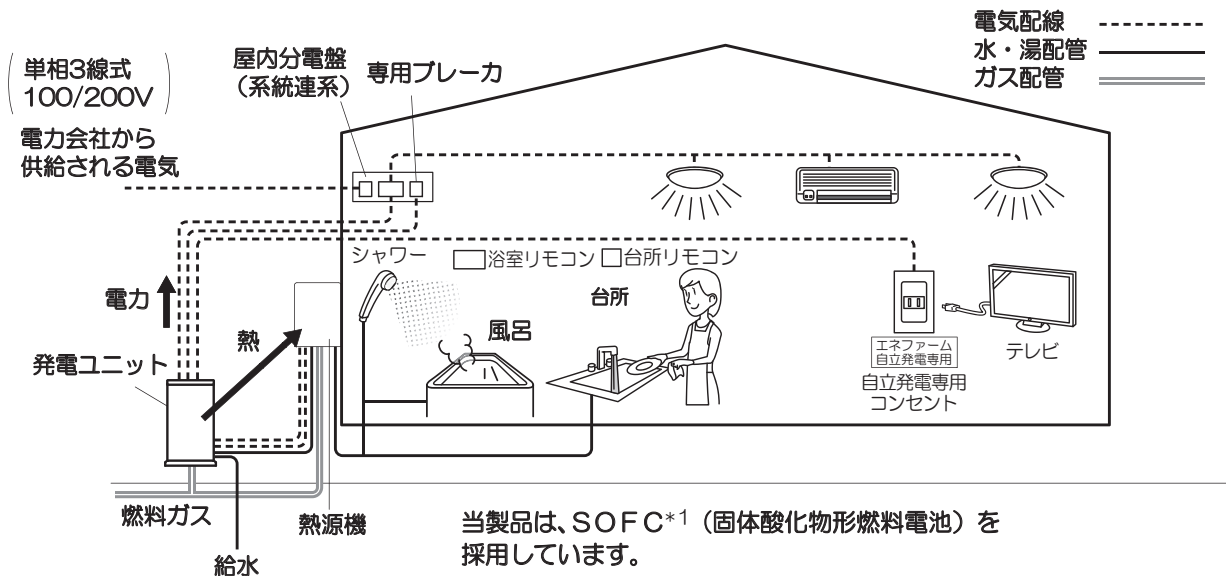
自立運転機能付きをお使いの皆さまへ

- ★ 停電した場合でも発電ユニットが発電中であれば、発電ユニットは発電を続けますので、発電した電気とお湯を使うことができます。〈自立運転機能〉
 - ※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- ★ 自立運転機能で利用できる電気の量は約700Wです。
 - ※ 熱源機で使用できる電気の量を含みます。実際にご使用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。
- ★ 自立運転時は自動的に自立運転専用のコンセントに電気が供給されます。
 - ※ 自立運転専用コンセントには「エネファームtype S 停電時自立発電専用」と表示されています。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときだけ、お使いください。なお、停電が復旧すると自動的に自立運転専用コンセントへの電気の供給は止まりますのでご注意ください。
 - ※ 自立運転機能の詳細は26～33ページをご覧ください。

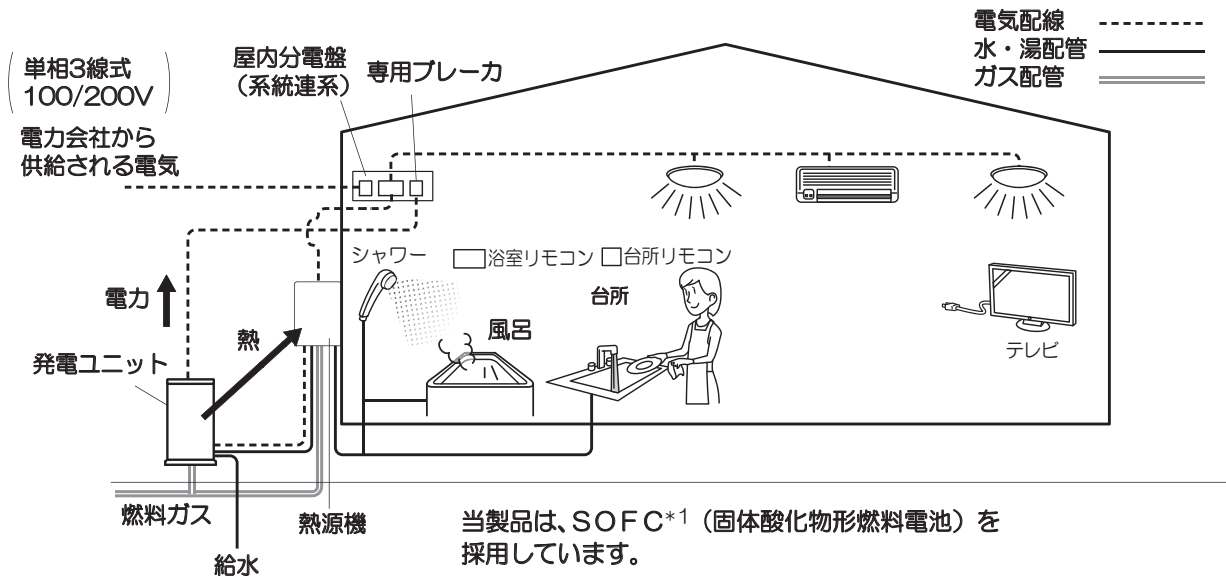
特長

自立運転機能付きの場合

※ 発電ユニットは台所リモコンおよび浴室リモコンで操作します。



標準モデルの場合



*1 SOFCとは・・・

燃料電池は、水素と酸素を化学反応させて電気を起こす発電装置です。当機のように、セラミックを電解質に用いる固体酸化物形燃料電池のことを、英語で Solid Oxide Fuel Cellといい、頭文字をとってSOFCと呼んでいます。



仕様について

製品名	エネファーム type S 燃料電池ユニット 自立運転機能付き		エネファーム type S 燃料電池ユニット 標準モデル		
燃料電池の種類	SOFC (固体酸化物形燃料電池)				
型式名	FCCS07B1NJ	FCCS07B1PJ	FCCS07B1N	FCCS07B1P	
設置方式	屋外設置据置型				
タンク貯湯温度	約70℃				
タンク容量	28L				
外形寸法 mm	高1195×幅780×奥行330				
重量 kg	106 (乾燥重量)		100 (乾燥重量)		
接続	ガス	TU (R1/2おねじ)			
	給水・給湯	R3/4 (おねじ)			
	タンク排水	R1/2 (おねじ)			
	排水	CF16ジョイント			
	電気	単相3線式 100/200V			
発電	定格出力 W	700 (自立運転時最大約700)		700	
	電圧 V	200			
	周波数 Hz	50/60			
効率	発電効率 (LHM%)	52.0	51.0	52.0	51.0
	総合効率 (LHM%)	87.0	85.0	87.0	85.0
インバータ	インバータ方式	自励式電圧型電流制御方式			
	電圧調整方式	PWM方式			
	絶縁方式	高周波絶縁方式			
	接続電気方式	単相3線式			
	出力電気方式	単相2線式 202V			
ガスの種類	都市ガス13A	LPガス	都市ガス13A	LPガス	
運転環境温度 ℃	-10~43				
停電自立運転設計耐用時間 (のべ) h	500		-		
不在停止の使用目安	10回/年以下				

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

ご使用の前に、この「安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。

【表示の説明】

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性や物的損害が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

【絵表示の説明】

 必ず行うこと	 接触禁止	 一般的な禁止
 分解禁止	 発火注意	 火気禁止
 アース線を接続すること	 高温注意	

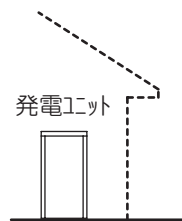
警告

屋内に設置しない

屋外設置据置型ですので、絶対に屋内に設置しないでください。
酸欠・一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



禁止



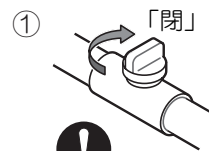
ガス漏れに気付いたら

- ・ガス漏れ異常（エラーコード「10F00、10F01、10F10、10F11」）は、リモコンでのエラー解除はできません。
- ・屋内でガス臭がする場合は、電気器具（換気扇・電灯など）のスイッチを入/切しないでください。引火し、爆発事故を起こすことがあります。
- ・ガス漏れに気付いた時は、次の処置を行ってください。
 - ①ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めると、エラーコード「AOF00」がリモコンに表示されます。）
 - ②屋内でガス臭がするときは窓や扉をあける。
 - ③ガス会社に連絡する。

そのままにしておくと、火災や爆発の原因になります。
また、絶対に火を近づけたりしないでください。



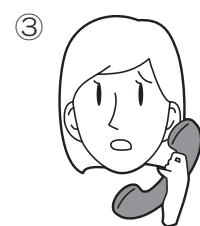
火気禁止



①



確認



③

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

警告

異常時の処置

この機器から異常な臭い（こげ臭い・ガス臭い）・発火・煙・異常に大きい音・振動があるときは、すぐにリモコンで機器を停止し、次の処置を行ってください。

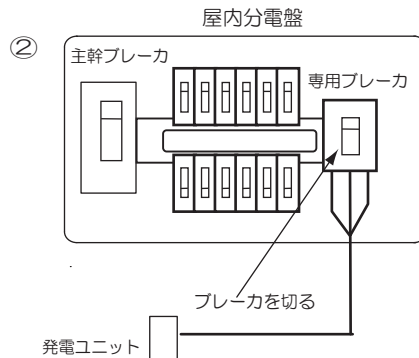
①ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めるとエラーコード「AOFOO」がリモコンに表示されます。）

②発電ユニットに接続された屋内分電盤のブレーカを「OFF」にする。

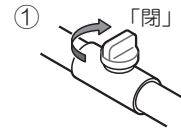
③ガス会社に連絡する。

異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。

※ ブレーカ部は濡れた手で触れないでください。



確認



地震・水害・火災の発生した時の処置

地震・水害・火災が発生した時は、ガス栓を閉め、屋内分電盤の専用ブレーカをOFFにしてください。おさまりましたら、機器が安全に使用できるかどうかの確認をガス会社に依頼してください。



確認

設置・付帯工事はガス会社または販売店に依頼する

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による中毒・火災の原因になりますのでガス会社または販売店に依頼してください。

（設置・付帯工事は工事説明書に従い、有資格者が行います。）



確認

移設時の確認

増改築や引越などで移設する場合は、ガス会社または販売店にご相談ください。

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による中毒・火災の原因になります。（移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。）

移設後は、電力会社への手続きが完了した後でない限り運転することはできません。

（手続きについては、ガス会社または販売店に確認してください。）



確認

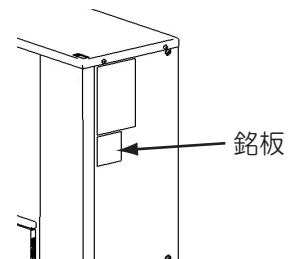
ガスの種類・電源の確認

ガスの種類・電源が異なる場合、火災や感電の原因となります。銘板に表示してある燃料種と使用するガスが一致していることを確認してください。

また、電源が「単相3線式100/200V」であることを確認してください。



確認



熱源機を買い替える場合

- 熱源機の組合せによっては、安全・性能が担保できず、やけど等の事故が発生する可能性があります。
- 熱源機を買い替える場合は必ずガス会社または販売店にご相談ください。



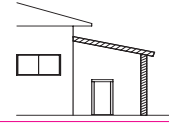
確認

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

警告

囲いをしない

設置後、発電ユニットを波板やビニールなどで囲んで屋内状態にしないでください。火災や酸欠事故の原因となります。

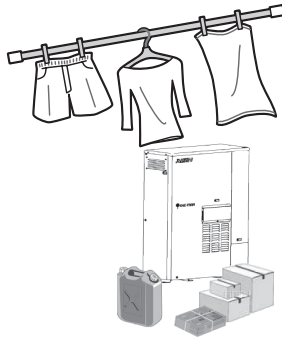


燃えやすい物を周りに置かない

洗濯物・新聞紙・灯油など燃えやすい物を周りに置かないでください。火災の原因となります。



発火注意

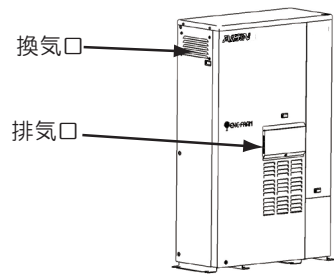


火気を近づけない

換気口・排気口に火気を近づけないでください。火災の原因になる場合があります。



火気禁止



引火のおそれがある物を周りで使用しない

灯油・ガソリン・ベンジンなど引火のおそれがある物を機器の周りで使用しないでください。火災の原因となります。



発火注意



スプレー缶を周りに置かない、使用しない

スプレー缶を周りで使用したり、置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。周りでスプレーを使用すると、スプレーに含まれる成分により、機器故障の原因となります。

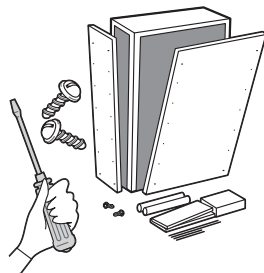


発火注意



分解・修理・改造をしない

分解・改造を行わないでください。分解禁止感電・火災・水漏れの原因となります。移設・付帯工事・修理をする場合は、必ずガス会社または販売店に依頼してください。



離隔距離とメンテナンススペースの確認

周囲の可燃物に対して、防火上の離隔距離をとってください。距離が不足すると火災の原因となります。この離隔距離に加えて、メンテナンススペースが必要です。物を置かないでください。



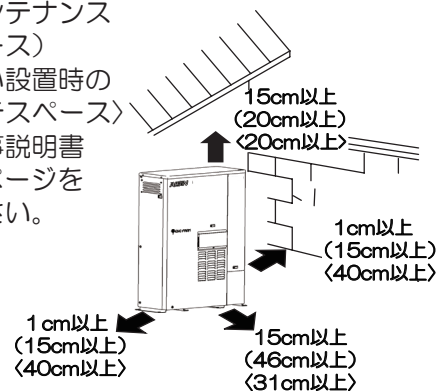
確認

上：防火上の離隔距離

中：（メンテナンススペース）

下：〈狭小設置時のメンテスペース〉

詳細は工事説明書15～16ページをご覧ください。



安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

警告

排気ガスを建物内に入れない

この機器の排気ガスが建物（自宅および隣家など）の吸排気口や窓などから建物内に入らないようにしてください。

排気ガスが建物内に流入すると、中毒などの原因になります。



禁止

排気口・換気口に顔を近づけない

大量の排気ガスを吸い込むと、中毒の原因となる可能性があります。



禁止

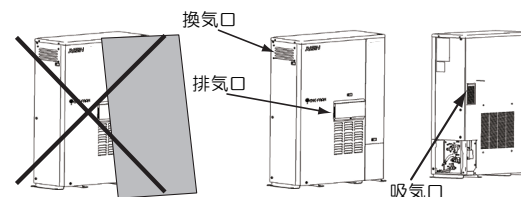


排気口・吸気口・換気口をふさがない

不完全燃焼の原因となります。



禁止



外壁の塗装、増改築、屋内の修繕時などに、機器本体が養生シートで覆われた場合は機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

積雪時の点検・除雪

積雪時は、排気口・換気口・吸気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。不完全燃焼の原因となります。



確認

機器の吸気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因となります。



確認

必ずアース工事を行う

アース工事が不完全な場合は、感電・火災の原因となります。（D種接地工事）アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。詳しくは工事説明書をご覧ください。



アース

水洗いしない

感電・火災の原因になることがあります。



禁止

排気口付近で子供やペットを遊ばせない

中毒のおそれがあります。



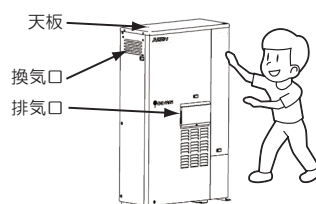
禁止

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 注意

排気口、換気口、天板に触れない

高温になっており、やけどの原因になることがあります。



発電ユニットの上に乗らない、物を載せない

落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。



排気ガス・換気ガスを動植物に当てない

動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



発電ユニットと熱源機間の配管の上に

乗らない、物を載せない

けが・やけど・水漏れのおそれがあります。



熱源機行き配管に触れない

熱源機行き配管は高温になることがあります。

やけどのおそれがあります。



排気口・換気口・吸気口に指や棒など異物を入れない

けが・やけどのおそれがあります。



パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない

けが・やけど・感電のおそれがあります。



断水時には給湯栓を開けない

発電ユニットより低い位置にある給湯栓は設定温度以上のお湯が出る場合があります。



シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。やけど予防のため。



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



ご使用にあたってのお願い

家庭用に使用してください

この機器は家庭用です。業務用に使用しないでください。
業務用に使用して事故や故障が発生した場合、保証の対象外になります。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

ご使用にあたってのお願い

純正部品を使用してください

純正部品を使用しないと、故障の原因になります。

低温になる場所への設置について

外気温が -10°C より低温になる場所に設置しないでください。
設置すると、凍結により重大な破損が発生することがあります。

積雪地域での使用について

この機器を積雪地域で使用するとき、排気口・換気口・吸気口に雪などが固着する場合があります。固着が進むと、この機器は吸入不足になり正常に運転できません。
雪などの固着物は、排気口・換気口・吸気口を塞がないよう取り除いてください。

機器の組み合わせについて

組み合わせることのできるリモコン・熱源機は限定されます。ガス会社または販売店にお問い合わせください。

知っておいてください

- ・雷や無線などのノイズが、この機器に悪影響を与えることがあります。
- ・ご自宅の電気工事などで、分電盤内の電流センサを外す場合は、事前にガス会社または販売店へ連絡してください。
(電流値の読み込み不良により、発電ができなくなる場合があります。)
- ・発電ユニットの吸気口から自動車の排気ガスが直接吸い込まれると、発電ユニットの故障・性能低下の原因になります。
LPガスを使用の場合は、運転開始時に臭いがすることがありますが、異常ではありません。

地下水・井戸水・温泉水の使用禁止

- ・給水は必ず水道水を使用してください。
地下水・井戸水・温泉水を使用すると機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

電源について

- ・緊急の場合以外はブレーカーを「切」にしないでください。
凍結予防運転のために電気を使用しています。

長期間使用しない場合の処置

10日間以上連続で使用しない場合は不在停止を行ってください。
長期間(1ヶ月以上)使用しない場合、またはブレーカーを「切」にする場合は必ず水抜きを行ってください。

停電時の注意

停電時に発電ユニットが発電を停止した場合は、日時がリセットされている場合がありますので、日時の設定を行ってください。

ドレン配管のつまりに注意する(故障の原因)

ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などでつまらせないでください。

配管バルブを閉めない

メンテナンス作業時以外は、配管バルブを閉めないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

警告（自立運転について）

自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時にのみ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に被害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。

- ・すべての医療機器
- ・灯油を用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器

消費電力が合計で700W以上になる機器は接続しないでください。

【注意】自立運転機能で使用できる電気の量は700Wです。

※ 熱源機で使用する電気の量も含まれますので実際にご利用できる電気の量は最大約700Wよりも少なくなります。



禁止

自立運転専用コンセントを商用電力線につながない

自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの事故になるおそれがあります。



禁止

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電流が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



確認

停電していない時に自立運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能が損なわれ、故障の原因となります。



禁止

注意

自立運転時は浴槽の排水栓を抜く

自立運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと思わぬ事故や浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



確認

ガスファンヒーターの使用について

- ・ガスファンヒーターのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。必ず1時間に1～2回（各1～2分）、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・自立運転専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒーターを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ガスファンヒーター運転中に停電が発生すると、ガスファンヒーターの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面（エアフィルタ部や取っ手部分）が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。
- ・自立運転専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒーターの使用を中止し、販売店またはよりのガス会社または販売店に連絡してください。



確認



禁止



確認



確認

ラベルの貼付け位置と記載内容

この機器を安全に使用していただくために、機器には安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。

ラベルは、はっきり見えるようにきれいにしておいてください。

この機器に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは、ガス会社または販売店に連絡して新しいラベルに貼り替えてください。

安全ラベル

安全ラベル

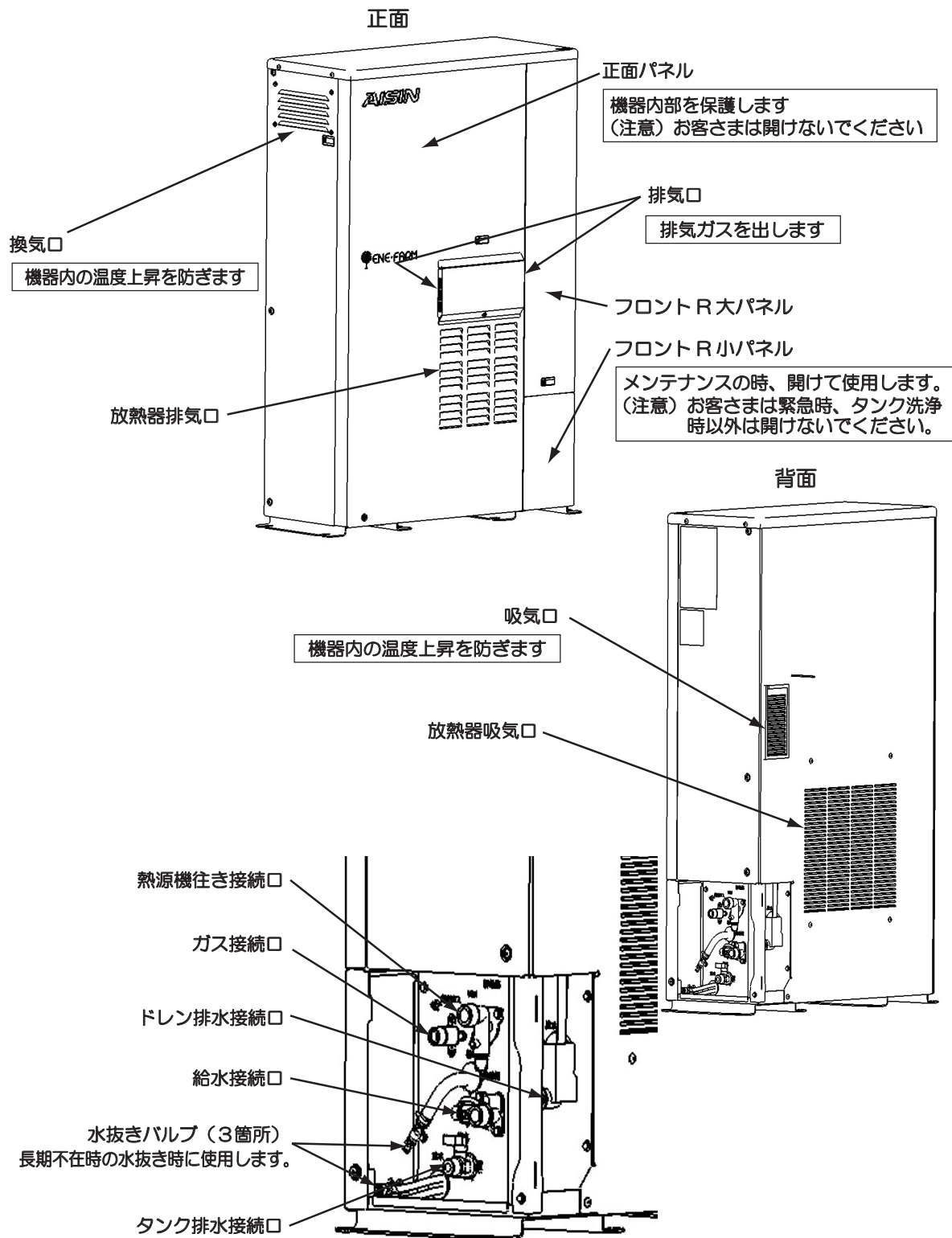
安全ラベル

安全ラベル

安全ラベル

装置銘板 (例)

各部のなまえとはたらき



ご使用方法

● ご使用前の確認・準備

ご使用前に次の確認・準備を行ってください。

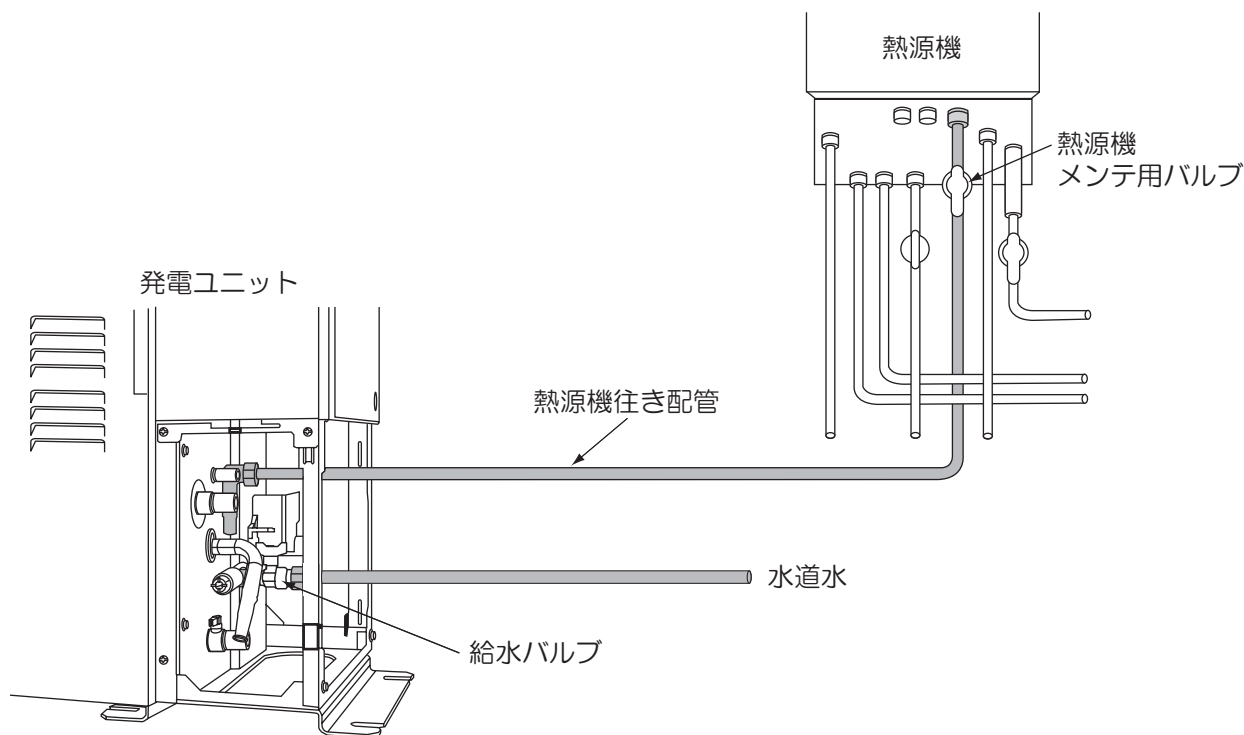
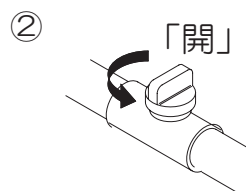
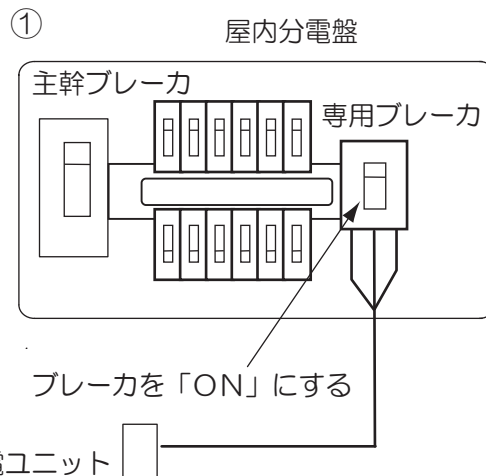
○確認

発電ユニット、熱源機周辺に異常がないことを確認します。

- ・機器の周囲に可燃物および、障害物がないことを確認します。
- ・機器の排気口、吸気口・換気口がふさがれていないことを確認します。
- ・据付金具が緩んでいないことを確認します。

○準備

- ① 発電ユニットに接続された屋内分電盤の専用ブレーカを「ON」にします。
- ② ガス栓、給水バルブ、熱源機メンテ用バルブ（取り付けている場合）を開けます。

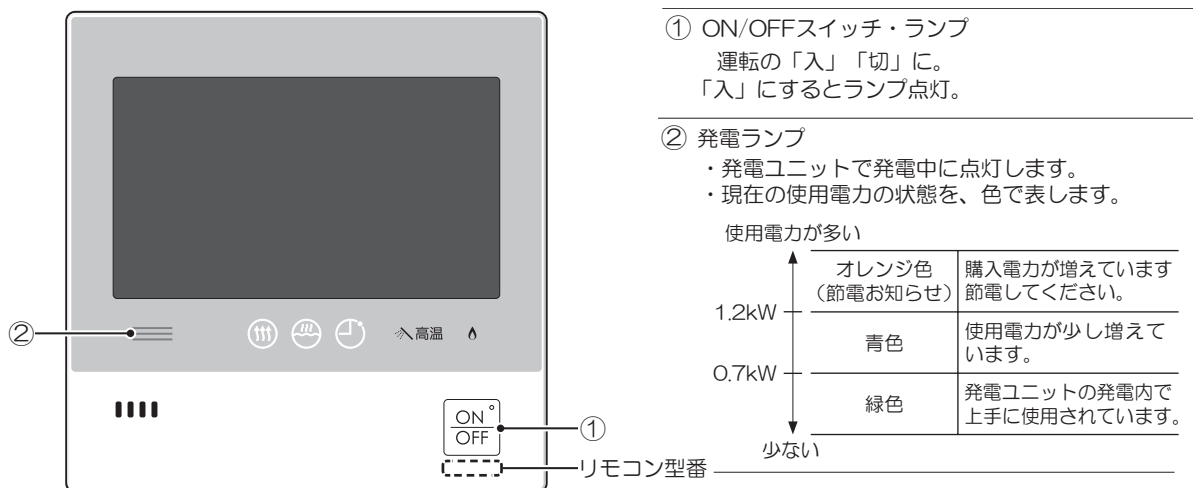


ご使用方法

● リモコンの操作説明

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
その他のリモコンの詳細機能についてはリモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照ください。

各部のなまえとはたらき（リモコン）



表示画面（タッチパネル）の操作の基本

- このリモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度力で確実にタッチしてください。

表示がグレーになっている部分は、タッチしてもスイッチ操作できません。

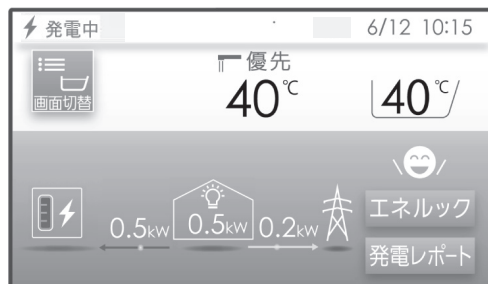


ご使用方法

台所リモコンおよび浴室リモコン（メイン画面）



給湯トップ画面



エネルギートップ画面

発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

		表示	状態
		⚡ (点灯)	発電しています。
		⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です。
		⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です。
		↓ ↔ ↓ (交互表示)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電停止の動作中です。 ^{※1}
		↓ (点灯)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電ユニットは停止しています。 ^{※1}
		(表示なし)	発電ユニットは停止しています。
		⚡ 発電中	
の 自 立 運 転 機 能 付 場 合	⚡ 自立 ↔ 自立 (交互表示)	自立運転しています。	
	⚡ 自立・高 ↔ 自立・高 (交互表示)	高出力モード (33ページ)で自立運転しています。	
	⚡ 発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します。	

※1 電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止するしくみになっています。

発電モードマークの見かた

🔄 タンクリフレッシュ運転マーク		長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
M マイコンメーター確認マーク	M 発電中	1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
	Mのみ	<ul style="list-style-type: none"> ● この表示が出ている間 (約24時間) は発電ユニットは停止しています。 ● この表示が出たら、すべてのガス機器 (暖房も含む) を最低1時間以上使用しないでください。1時間あけずにガス機器を使用すると、ガスメーター (マイコンメーター) がガス漏れと誤警報します。

ご使用方法

● 基本操作の説明

1. 発電ユニットの起動方法

● 1-1. 発電禁止からの再開

①メイン画面よりメニューを選択してください。



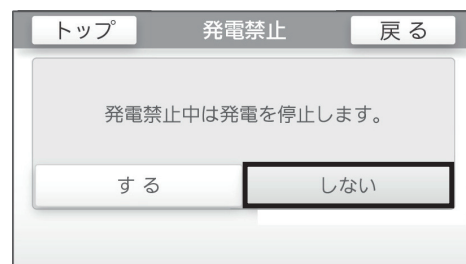
②メニュー画面より発電メニューを選択してください。



③発電メニュー画面より発電禁止を選択してください。



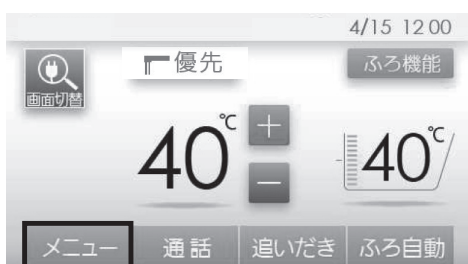
④発電禁止画面より「しない」ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

● 1-2. 不在停止からの再開（18ページ「2-2」で停止させた場合）

①メイン画面よりメニューを選択してください。



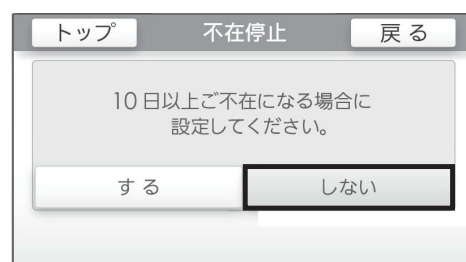
②メニュー画面より発電メニューを選択してください。



③発電メニュー画面より不在停止を選択してください。



④不在停止画面より「しない」ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

ご使用方法

● 1-3. 発電再開からの再開（22ページ「⑤」で停止している場合）

①メイン画面よりメニューを選択してください。



（イラストは待機状態を表示）

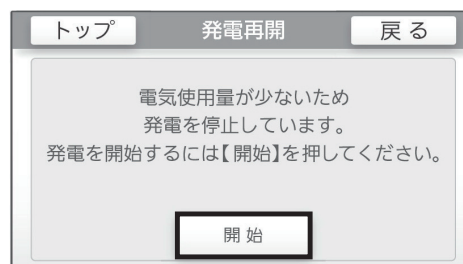
②メニュー画面より発電メニューを選択してください。



③発電メニュー画面より発電再開を選択してください。



④開始ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

ご使用方法

2. 発電ユニットの停止方法

※ お客さま操作により、頻繁に起動・停止(不在停止等)を繰り返すと故障の原因になる恐れがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、発電禁止と不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

● 2-1 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいときの停止方法（発電禁止）

①メイン画面よりメニューを選択してください。



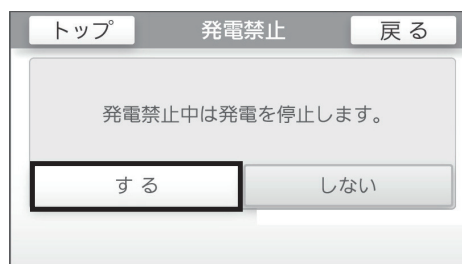
②メニュー画面より発電メニューを選択してください。



③発電メニュー画面より発電禁止を選択してください。



④するボタンを押してください。



● 2-2 10日以上家をあけるなど、すべての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

※ 1ヶ月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。40ページを参考に水抜き操作をお願いします。

※ 10日以上リモコンがONされない場合またはお湯・暖房を使用しない状態が続くと、自動的に不在停止が「する」になります。

※ 給湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

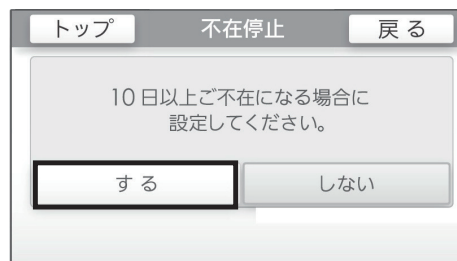
①メイン画面よりメニューを選択してください。

②メニュー画面より発電メニューを選択してください。

③発電メニュー画面より不在停止を選択してください。

④するボタンを押してください。

※ 不在停止設定後、発電ユニットの停止処理中に、リモコンONによる不在停止解除操作や給湯・暖房などをご使用されると、不在停止が解除され停止完了直後に発電再開を自動的に行います。



ご使用方法

3. 発電ユニットの水抜き方法

※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



①～⑦：やけど防止のため、リモコン操作により貯湯タンク内の水温を冷却しています。

⑧～⑨：バルブ操作による水抜き手順

①リモコンをOFFにし（ON/OFFスイッチ部のLEDランプを消す。）液晶画面部をタッチする。

②メイン画面よりメニューを選択してください。



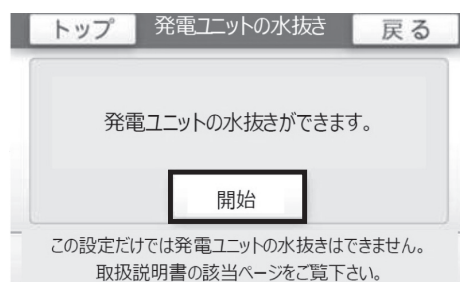
③メニュー画面より音・その他メニューを選択してください。



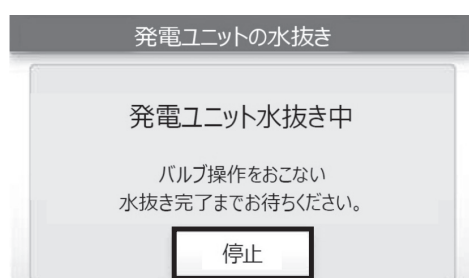
④音・その他メニュー画面より発電ユニットの水抜きを選択してください。



⑤開始ボタンを押してください。

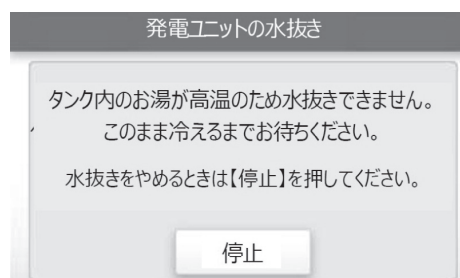


⑥タンク内温度が下がりましたのでリモコンによる水抜きを停止してください。



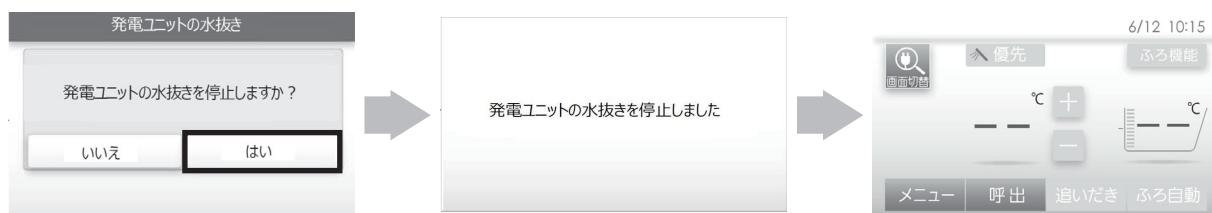
※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。停止を押すと停止画面に移行します。

タンク内部温度冷却後



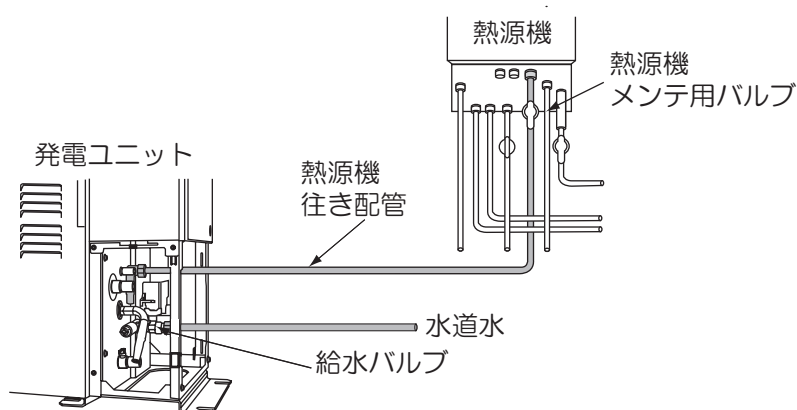
ご使用方法

⑦[はい]ボタンを押してください。

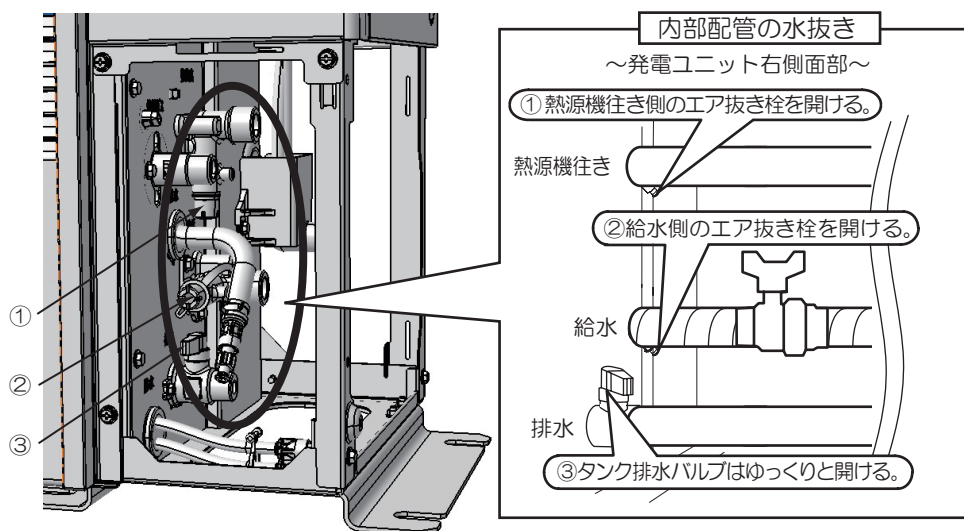


⑧メイン画面移行後下記バルブの操作をしてください。

- ・給水バルブを閉じます。
- ※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、発電ユニット内部の部品の劣化を早めることにつながりますのでご注意ください。
- ・熱源機メンテ用バルブを閉じます。

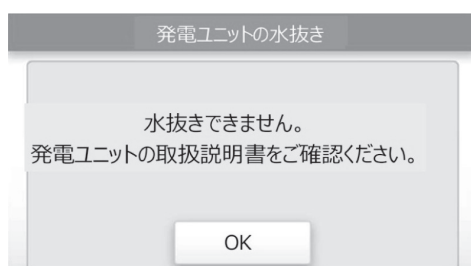


- ・③タンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・②給水側、①熱源機往き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



⑨タンク排水より水が出なくなったら、②給水側、①熱源機往き側のエア抜き栓を閉め、③タンク排水バルブを閉じます。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

ご使用方法

4. 発電ユニットの水張り方法

※ 断水時に水（湯）を使用された場合、エラー表示部に17F00、81F01、82F01が表示された場合、貯湯タンクを洗浄する場合に実施してください。

① リモコンをOFF（ON/OFFスイッチ部のLEDランプが消える）にして、液晶画面部にタッチしてください。

② メイン画面よりメニューを選択してください。



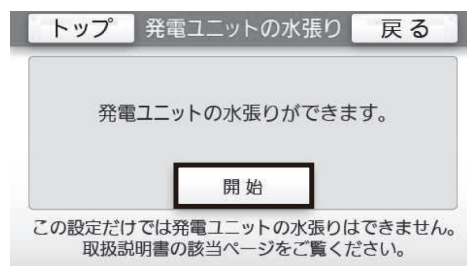
③ メニュー画面より音・その他メニューを選択してください。



④ 音・その他メニュー画面より発電ユニットの水張りを選択してください。

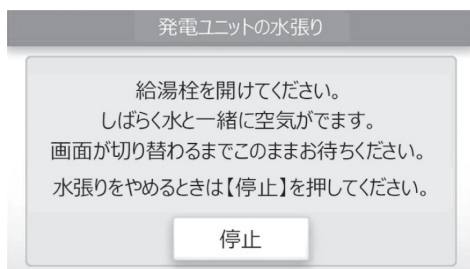


⑤ 開始ボタンを押してください。

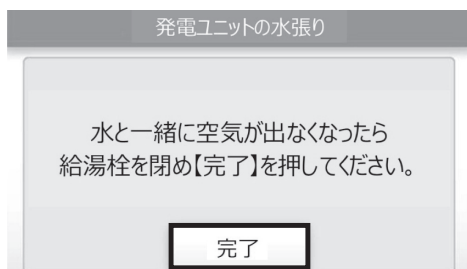


⑥ 発電ユニットの給湯栓・熱源機給水口にあるメンテ用バルブを開けてください。

⑦ 給湯栓を開けてください。



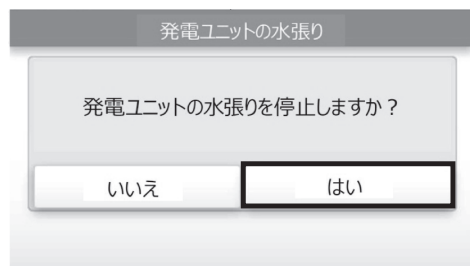
⑧ 空気が出なくなったら完了ボタンを押して給湯栓を閉めてください。



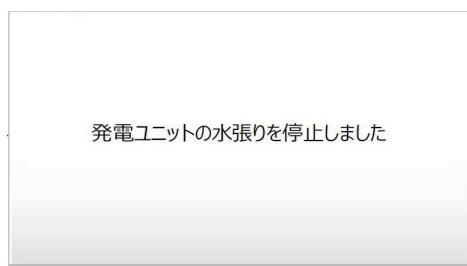
給湯栓：屋内の給湯蛇口です。

停止する場合

⑨ 「はい」を押してください。「いいえ」を押すと前の画面に戻ります。



⑩ 給湯栓を閉じてください。

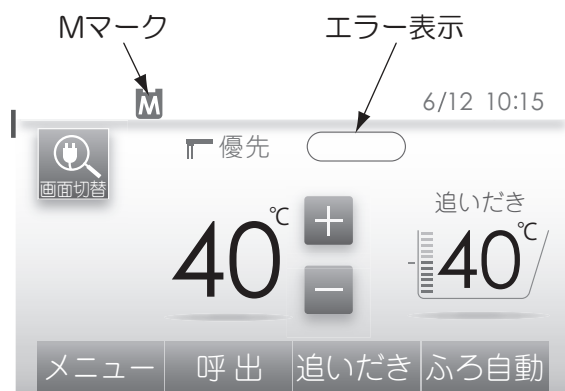


ご使用方法

● 運転・停止について

- 以下の場合、発電ユニットは停止します。
ガスメーター（マイコンメーター）の安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にM マークが表示されているとき）

台所リモコンおよび浴室リモコンのメイン画面



- ① ガスメーター（マイコンメーター）の安全機能確認のため、約26日ごとに1日（24時間）発電ユニットは停止します。
（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- ② お湯・暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
- ③ 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため停止することがあります。
この場合、リモコンにエラーコード「03F00、03F02、03F03、03F05、03F07」、「08F00、08F03」を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- ④ 故障診断をしているとき
故障診断をしているとき、自動的に停止し一定時間停止したままの場合があります。
- ⑤ 電気使用量が少ない状態が続いたとき
 - ・ 月末時当月の電気使用量が少ない場合は、リモコンのお知らせ画面に「電気使用量が少ない状態が続いたため、発電を停止します。発電を継続する場合はメニューの【お知らせ】を押してください」のメッセージが24時間表示され、翌月は自動停止します。
 - ・ 翌月も発電を継続したい場合は、発電継続を選択してください。
 - ・ 停止後発電ユニットを起動したい場合は、発電再開操作（17ページ参照）を実施してください。
 - ・ 停止中の電気使用量が多くなった場合は、翌月より自動で再起動します。

- 以下の場合、発電ユニットは発電出力を下げます。

- ① 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため発電出力を自動的に下げる場合、もしくは停止することがあります。
- ② ご使用による経年劣化により、ある程度の発電効率・発電出力が低下します。
- ③ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ④ ガスメーター（マイコンメーター）の保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。

ご使用方法

● 停電のときは

- 発電中に停電した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転機能により発電を継続します。
発電した電気は自立運転専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）
（26～33ページ参照）
- 発電中に停電した場合（標準モデルをお使いのお客さまの場合）
停電中は、アイドル状態になり、復旧待機しています。ガス、水は閉めないでください。
※ 4時間以内の停電であれば、復旧後約5分で発電が開始します。また、システムの状態により停電中に停止する場合があります。
- 停電が復旧した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転を終了し、通常運転に自動的に切り替わります。
※ 自立運転専用コンセントは停電している時にだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 待機中・起動中・停止中に停電した場合
停電中は起動しません。

- 緊急時などガス栓を閉にした場合、屋内分電盤の専用ブレーカをOFFした場合
再使用の前に、13ページの「ご使用前の確認・準備」を行ってください。

お手入れと周囲の確認

《お手入れ》

- 機器の外観が汚れている場合、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭きとってください。
 - ・機器を水洗いしないでください。
 - ・外観のお手入れに、ガソリン・シンナー・ベンジン・みがき粉・スプレーなどを使わないでください。
- 1年に1回程度、発電ユニット内の貯湯タンクの洗浄を以下の手順で行ってください。
 1. 発電ユニットを停止させてください。（18ページ、2-1発電禁止を参照ください。）
 2. 発電停止完了後、水抜きをしてください。（19ページ、3発電ユニットの水抜き方法を参照ください。）
 3. 水抜き終了後、水張りをしてください。（21ページ、4発電ユニットの水張り方法を参照ください。）
 4. 発電ユニットを起動してください。（16ページ、1-1発電禁止からの再開を参照ください。）※ 上記2.の開始から3.の終了までは熱源機は使用できなくなります。

《周囲の確認》

「ご使用前の確認・準備」を月に1回程度行ってください。（13ページを参照ください。）

⚠ 注意

発電ユニットと熱源機の間配管には

乗らない、物を載せない

けが・やけど・水漏れのおそれがあります。



禁止

熱源機行き配管に触れない

熱源機行き配管は高温になることがあります。

やけどのおそれがあります。



禁止

排気口・換気口・吸気口に指や棒など異物を入れない

けが・やけどのおそれがあります。



禁止

パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない

けが・やけど・感電のおそれがあります。



禁止

点検に関して

機器への通電開始から10.5年経過後に停止します。引き続き安全にご使用いただくためには、点検および部品の交換が必要になります。（有償）

- ・リモコンに「発電ユニット点検」が表示されたときは、ガス会社または販売店に連絡してください。
 - 「近」の点滅表示：点検時期が近いことのお知らせです。
 - 「要」の点滅表示：点検時期に到達したことのお知らせです。
 - 「過」の点滅表示：点検時期を超過したことのお知らせです。
（エラーコード「05F00/05F01」も点滅）

※「過」の表示になると、発電ユニットは自動的に停止します。

- ・点検は、専門のサービスマンが実施いたします。

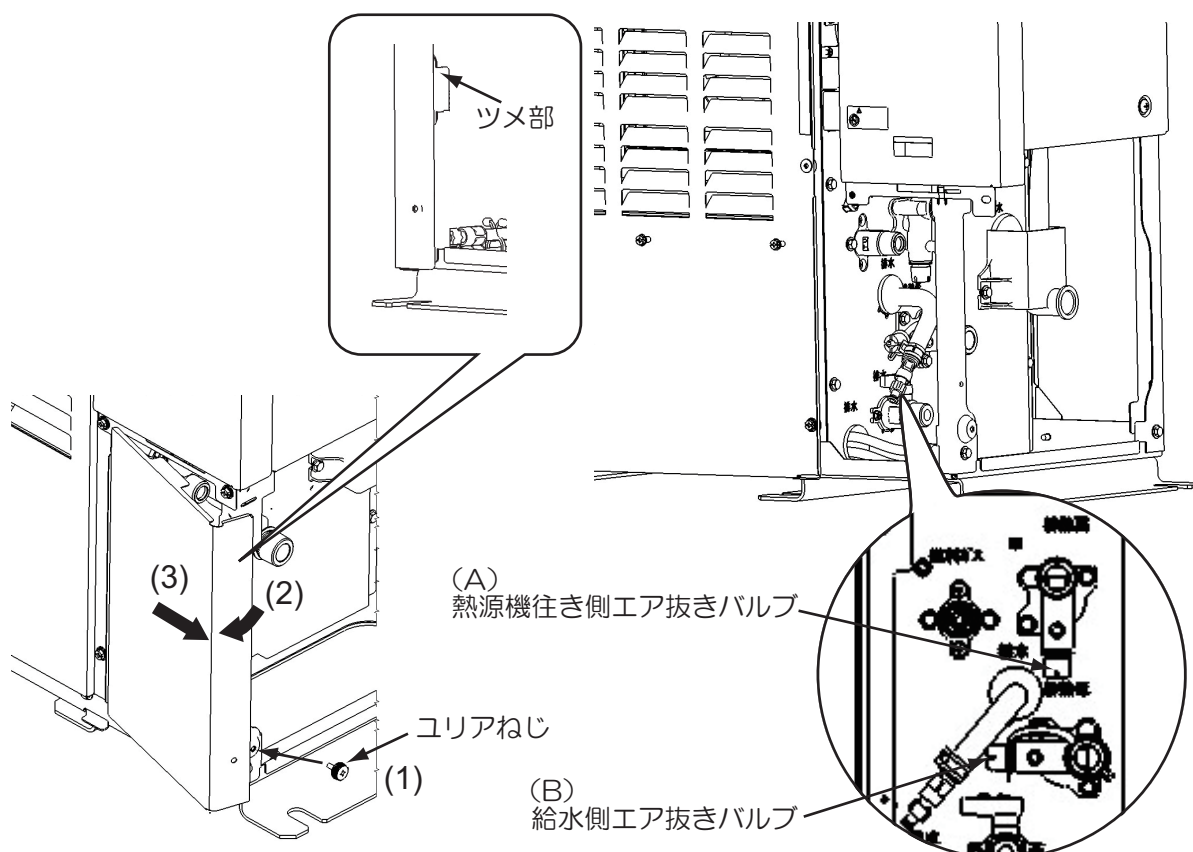
災害時にお湯を使う

災害時などに貯湯タンクからお湯を取り出す

⚠ 警告

エア抜きバルブから熱湯が出る場合がありますのでやけどに注意してください。

- 断水時や地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯（水）を雑用水として利用できます。



- ① 発電ユニットが停止していることを確認してください。
 - ② 分電盤の専用ブレーカーを「切」にします。
 - ③ フロントRパネル小をはずします。
 - (1) ユリアねじをはずします。
 - (2) フロントR小パネルの裏の引っかけをはずしながら手前に寄せます。
 - (3) フロントR小パネルを右にスライドさせて取り外します。
 - ④ ホース接続口に内径約9mmのホースを取り付け、バケツなどで出てくるお湯（水）を受けられるようにしてください。
 - ⑤ 給水バルブと熱源機メンテ用バルブを閉じます。
 - ⑥ (A) 熱源機行き側エア抜きバルブを回します。
 - ⑦ (B) 給水側エア抜きバルブを回します。
- 出てきたお湯（水）は、雑用水として使用してください。
- ⑧ 取水が終わったら、(B) 給水側エア抜きバルブ、(A) 熱源機行き側エア抜きバルブの順で閉じます。

- ★ 再使用する時は、発電ユニットの水張り（21ページ参照）を実施してください。
- ★ 停電時間が24時間以上続いた場合は、リモコンの時刻設定を入力してください。手順詳細はリモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照してください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きをお使いのお客さまへ)

警告 (自立運転について)

自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時にのみ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に被害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。

- ・すべての医療機器
 - ・灯油を用いた暖房機器
 - ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
 - ・炊飯器、電子レンジなどの調理機器
 - ・冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
 - ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- 消費電力が合計で700W以上になる機器は接続しないでください。

【注意】自立運転機能で使用できる電気の量は700Wです。

※ 熱源機で使用する電気の量も含まれますので、実際にご利用できる電気の量は最大約700Wよりも少なくなります。



禁止

自立運転専用コンセントを商用電力線につながない

自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの事故になるおそれがあります。



禁止

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電流が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



確認

停電していない時に自立運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能が損なわれ、故障の原因となります。



禁止

お願い

自立運転専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、自立運転専用コンセントが必要です。

「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、自立運転専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

自立運転時に断水状態*のまま水やお湯を使用されますと、リモコン表示画面にエラーコード「81F01、82F01」が表示され、発電ユニットが異常停止します。

※ 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きをお使いのお客さまへ)

- 発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を継続しますので、発電した電気と熱源機のお湯をご使用いただけます。
 - ※ 発電ユニットが発電を停止している時に停電した場合は、発電することができません。
また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。
- 以下の場合、発電ユニットは停止しています。
 - ・ ガスメーター（マイコンメーター）の安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）
ガスメーター（マイコンメーター）の安全機能確認のため、約26日ごとに1日（24時間）発電ユニットは停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
 - ・ お湯／暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
 - ・ 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため出力を下げる、もしくは停止することがあります。
この場合、リモコンにエラーコード「03F00、03F02、03F03、03F05、03F07」、「08F00、08F03」を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
 - ・ 故障診断しているとき
故障診断をしているとき、自動的に停止し一定時間停止したままの場合があります。
- 自立運転機能で利用できる電気の量は最大約700Wです。
 - ※ 熱源機で使用する電気の量も含みますので、実際にご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。
- 自立運転時は自動的に自立運転専用コンセントに電気が供給されます。
自立運転専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。
事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電している時にだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに自立運転専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きをお使いのお客さまへ)

1. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - 計画停電時にガスメーター（マイコンメーター）の安全機能確認による発電停止を避けるため、停電予定日の2～3日前に、あらかじめ発電を24時間以上停止させてください。
- ① リモコンで安全機能確認のための停止までの日数をご確認ください。
- ② 停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電を連続24時間以上停止させてください。遅くとも計画停電の4時間前までには発電再開操作を実施ください。
停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。
- ※ ①および②は、リモコンの取扱説明書（リモコン操作編）をご参照ください。
- 自立運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯（水）を、生活用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きをお使いのお客さまへ)

2. 停電が発生した時

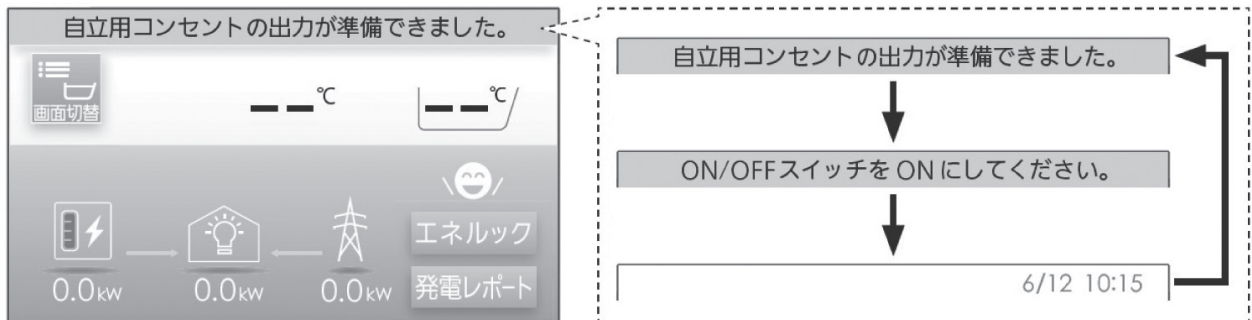
※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

2-1. 「自立用コンセントの出力が準備できました。」の表示がされていることを確認する

● 停電してから約90秒後※に、リモコン画面が表示します。

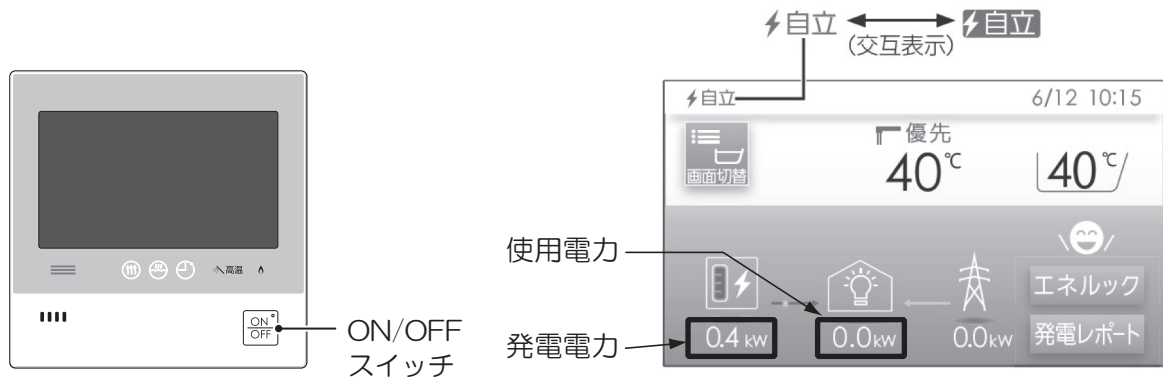
※ お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。(最大約10分間)

表示例

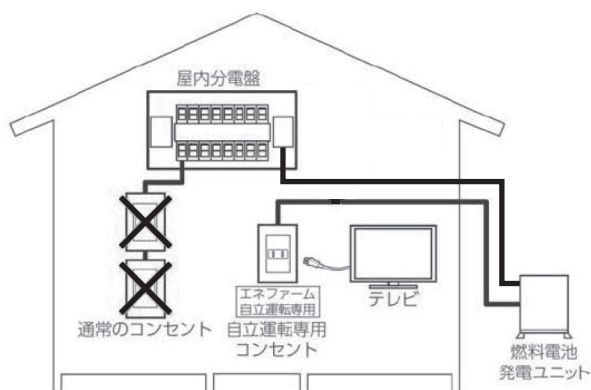


2-2. リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」にし、「自立」が交互表示していることを確認する

※ このスイッチ操作は、自立出力開始または消費電力が700Wを上回り電気の供給が停止してからの復帰操作です。



2-3. 電化製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込む



- 停電時は自立運転専用コンセントしか使うことができません。
- リモコン表示で発電電力表示と使用電力表示を確認しながら自立運転専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。
- 使用電力表示が発電電力表示を超えないよう、こまめに確認してください。
- 消費電力が700Wを上回る場合(過負荷)は、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止します。接続した電化製品を取り外し、リモコン画面に「使用する電気を減らし、ON/OFFスイッチをONにしてください。」を表示したらメッセージに従って操作をしてください。

停電時に電気とお湯を使う

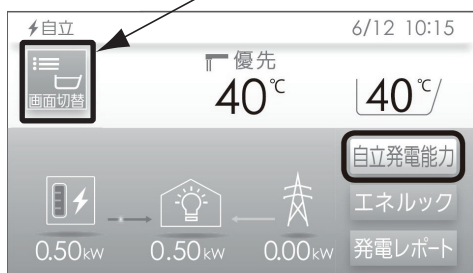
(自立運転機能付きをお使いのお客さまへ)

- 自立発電中、電力消費が少ないと自立出力を下げます。消費電力の大きい（但し合計しても700Wをこえない）電化製品を使用される時は高出力モードに切り替えてください。

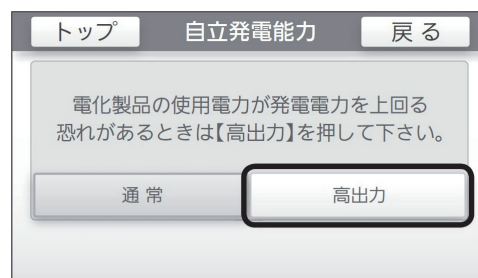
※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

- ① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は「自立発電能力」ボタンを押す。（自立発電能力ボタンは、高出力発電が可能な時のみ表示されます。）

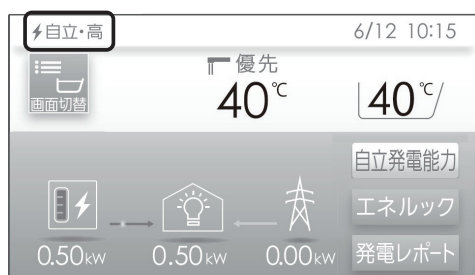
ここを触ってこの画面にします。



- ② 高出力ボタンを押す。

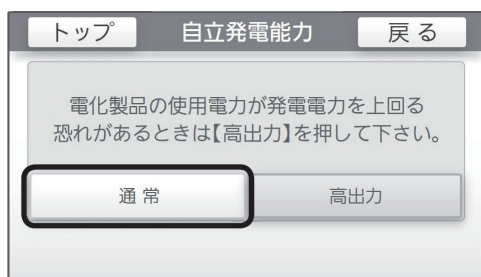


- ③ 左上部の文字が、自立・高に変わります。



- 高出力設定を通常に戻す場合

②の画面で通常ボタンを押します。



※ 通常モードに戻し忘れた場合は消費電力低下から約3分後に機器保護のため出力を下げます。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きをお使いのお客さまへ)

⚠ 注意

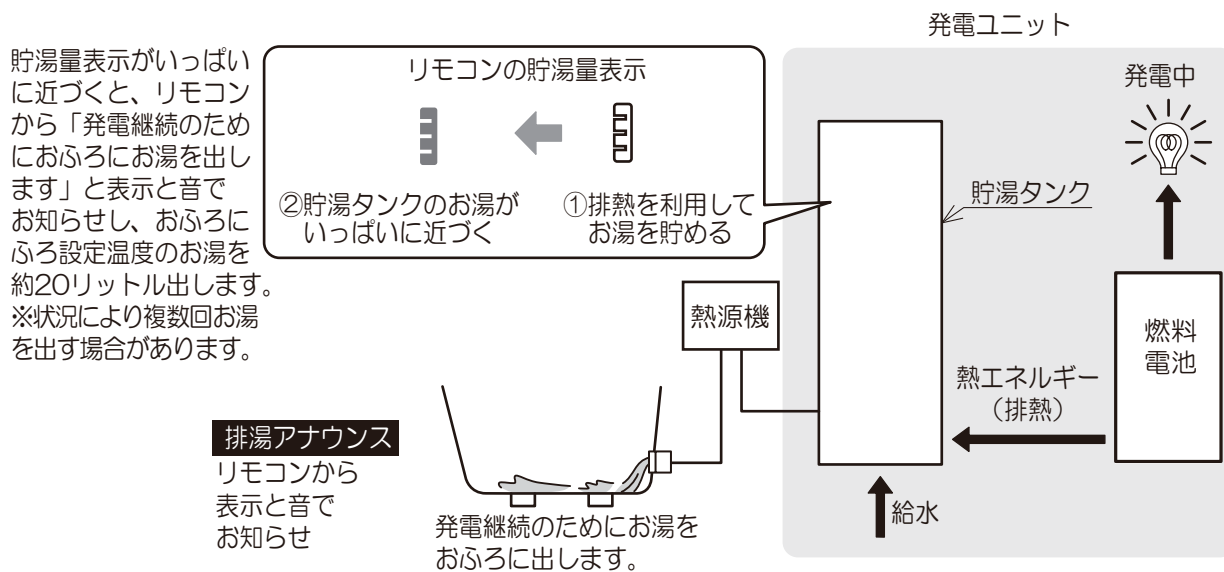
自立運転時は浴槽の排水栓を抜く

自立運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。

■ 排湯について

自立運転中は運転を継続するために排湯機能（※）により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

※ 排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。



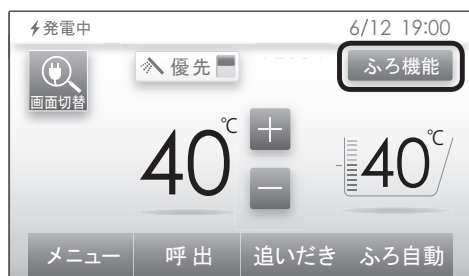
排湯メッセージ



お知らせ

- お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 排湯を停止したい場合は、下記リモコン操作をしてください。発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。

① 給湯トップ画面で「ふる機能」をタッチする。



② 「たし湯」をタッチする。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きをお使いのお客さまへ)

⚠ 警告

自立運転専用コンセントには以下の機器を接続しない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- すべての医療機器
- 灯油を用いた暖房機器
- 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- 最大電力が700W以上になる機器

主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力に関わらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒーター	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤー	1200

⇒ご使用できません

⚠ 注意

ガスファンヒーターの使用について

- ・ガスファンヒーターのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。必ず1時間に1～2回(各1～2分)、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・自立運転専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒーターを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ガスファンヒーター運転中に停電が発生すると、ガスファンヒーターの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面(エアフィルタ部や取っ手部分)が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。
- ・自立運転専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒーターの使用を中止し、ガス会社または販売店に連絡してください。



確認



禁止



確認



確認

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きをお使いのお客さまへ)

お知らせ

- 停電時に使用可能な電力は熱源機の消費電力（数十W（※1））と合わせて最大で約700Wです。消費電力の合計が発電量を超えないように注意してください。
※1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電量と消費電力を確認しながらお使いください。
- 電化製品の電源を入れたとき
電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。使用負荷によって過負荷を検知し、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。
これらの場合、リモコンON/OFFスイッチをOFFからON後、約90秒（発電ユニットの状態によっては10分程度必要になる場合があります）ほど待つと使用できるようになりますので、最後につないだ電化製品のコードを抜いた状態でお待ちください。
- 自立運転開始直後は
発電ユニットの状態によって、消費電力が700W以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力量を確認してから電化製品のコードをさしてください。
- 自立運転中に発電を停止させたい場合は、
リモコン操作により「発電禁止」で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用（発電）できません。
操作方法は、18ページ「発電停止方法」をご参照ください。
- 自立運転中は、
発電ユニットの状況により、排気口から多くの湯気が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 断水（※2）時は、使用できる電気量を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - ・自立コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - ・発電ユニットの蓄熱量が多い場合※2 断水：ご家庭への給水が停止している状態
- 以下の場合は自立運転を停止する場合があります。
 - ・外気温が高く発電ユニットのタンク内水温が高い場合※ 自立運転を継続するためにはお湯を利用ください。

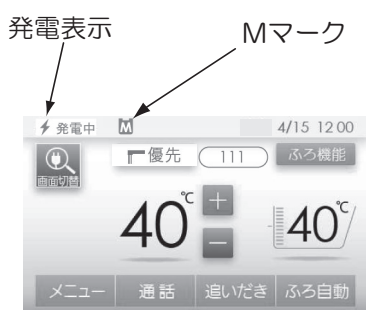
故障・異常かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。


症状	原因
排気口から湯気が出ている。	排気ガス中の水蒸気が凝縮し湯気が立つことがあります。 排気口付近に結露が発生することがあります。
お湯を使っていないのに運転している。 お湯を使っているのに運転しない。	発電ユニットの発電・停止は、お湯を使う時間帯と必ずしも一致しません。
停止後も運転音がする。	機器を保護するために、停止後10～12時間程度は運転しています。
排水配管から水がポタポタ出る。	排気ガス中の水蒸気が凝縮して水となり、排出されます。
発電出力が0.6kW以上に上昇させるのに時間を要する場合があります。	モジュール内部の温度が急上昇しないようゆっくりと出力を上昇させています。

故障・異常かな？と思ったらときは、まずリモコンの表示をご確認ください。

※ 熱源機及びリモコンの取扱説明書も合わせてご確認ください。

症状	原因	処置方法
リモコンが表示しない。	発電ユニットに接続された専用ブレーカがOFFになっている。	発電ユニットに接続された専用ブレーカをONにしてください。 ※ リモコンが表示したら、リモコンの時計合わせを行ってください。
リモコンが表示しない。 (自立運転機能付き)	停電時に自立運転専用コンセントに接続している電化製品の消費電力が発電量を超えている。	すみやかに接続した電化製品を取り外してください。
	発電ユニットがエラー停止している。	停電時、発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。 停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は、38～39ページに記載の処置方法に従って処置を行ってください。
発電表示が消え、発電停止時にMマークを表示して停止している。	故障診断のための一時的な停止。	しばらくお待ちください。24時間経過しても発電表示が点灯しない場合はガス会社または販売店に連絡してください。  台所リモコンおよび浴室リモコン
「01900」を表示して停止している。	ガスメーター（マイコンメーター）の安全確認中に熱源機の燃焼が連続で1時間以上の停止がなかった。	すべてのガス機器を最低1時間以上使用しないでください。
発電出力が家庭の電力需要を大幅に下回る。	発電出力抑制モード中外気温が高いときなどに、運転継続させるための一時的な発電出力抑制。	しばらくお待ちください。 24時間経過しても発電出力に変化がない場合はガス会社または販売店に連絡してください。

故障・異常かな？と思ったら

症状	原因	処置方法
発電エラーと「**F**」が交互に表示されている。	エラーが発生している。	<p>停止完了までお待ちください。（「発電×」表示中は再起動できません。）</p> <p>リモコン左上隅にある、発電マークと状態表示が消えたら停止完了です。38～39ページを参照し、エラーの処置を行ってください。</p> <p>エラー表示</p>  <p>台所リモコンおよび浴室リモコン (セット構成の場合)</p>
「発電ユニットセルフチェック実施中」が表示されている。	故障診断のための一時的な停止。	しばらくお待ちください。 24時間経過しても「発電ユニットセルフチェック実施中」の表示が消えない場合は、ガス会社または販売店に連絡してください。
発電中にリモコン左上の「発電中」の表示が「電圧抑制中」と表示される。	商用電源の電圧が設定値（電力会社による指定値）を超えないように、発電ユニットが電圧を自動検出し、発電量を自動で抑制します。	商用電源の電圧が正常に戻れば「電圧抑制中」の表示は消え「発電中」に戻ります。頻繁に発生する場合は、ガス会社または販売店にご相談ください。
発電が停止しリモコン画面左上の「発電中」の表示欄に「↓」が表示される。	お客様の電力の使用量が少ない状態が継続し、十分な省エネ効果が得られないため発電を一定期間停止しています。	お客様の電気使用量が増加すれば自動的に再発電します。電気使用量が増加しなければ長期間発電を停止する場合があります。停止中に起動する場合は【メニュー】→【発電メニュー】から【発電再開】を選択し【開始】を実行ください。
リモコン設定よりも熱いお湯が出る。 お湯を出しても温度が上がらない。 お湯を出しても、熱くなったりぬるくなったりして、お湯の温度が安定しない。	熱源機に供給する水を発電ユニットの排熱により予熱しています。このため、少ない流量でお湯をお使いの場合、設定温度よりも高めのお湯が出る場合があります。お湯の流量を絞りすぎると、熱源機の燃焼を停止する場合があります。	お湯の量を増やしてご使用ください。 ※ 混合水栓でお湯と水を混ぜてお使いの場合は、水栓から流れるお湯の量よりも熱源機を流れるお湯の量が少なくなります。リモコンで設定したお湯の温度に注意して混合水栓のレバーをお湯側にしてお使いください。
発電ユニットの起動時に数分程度音が大きくなる場合があります。	点火時に発生する燃焼音です。	音が継続して止まらない場合は、ガス会社または販売店にご連絡ください。

発電ユニットに不具合が生じたとき、リモコンにエラーコード（**F**）が表示されます。

エラー表示について

発電ユニットのエラーコード一覧 (1/2)

Ver.57.07

表示	故障内容	表示	故障内容
01F00	通常停止回数警告	43F01	燃焼排ガス温度高温異常
01F01	シャットダウン回数警告	43F02	燃焼排ガス温度低温異常
02F00	通常停止回数警告 (起動禁止)	47F00	還流ガス温度センサ故障
02F01	シャットダウン回数警告 (起動禁止)	47F01	還流ガス漏れ異常
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち	47F02	還流ガス温度低温異常
03F01	スタック保護待機状態	50F01	停止時原燃料流量異常
03F03	シャットダウン後起動許可時間タイムアウト	52F01	停止時エア流量異常
03F05	改質水タンク補給回数警告	52F02	エア流量異常
03F06	水抜き状態時起動警告	53F00	給湯混合弁原点復帰異常
03F07	改質水水量保護動作中	55F00	可燃ガスセンサ1異常
05F00	メンテナンス時間超過1	55F01	可燃ガスセンサ2異常
05F01	メンテナンス時間超過3	55F10	可燃ガスセンサ1異常
05F03	可燃ガスセンサ時間超過	55F11	可燃ガスセンサ2異常
05F04	可燃ガスセンサ時間超過	57F01	伝導度上限異常または水位センサ短絡故障
08F00	自立運転保護動作	59F00	燃焼触媒故障
08F02	水不足による保護停止	60F00	原燃料流量偏差異常
08F03	自立時過負荷検出	60F01	原燃料ガスブロードDUTY上限異常
10F00	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	61F00	エア流量偏差異常
10F01	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	61F01	エアブロード故障
10F10	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	62F00	改質水ポンプ故障
10F11	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	63F00	フロートスイッチ断線故障
11F00	着火異常	63F01	フロートスイッチ短絡故障
12F00	燃焼部#1失火異常	64F00	排熱回収水ポンプ故障
12F01	燃焼部#2失火異常	66F00	改質水補給異常
12F04	失火による出力異常	67F00	水位異常または水位センサ短絡故障
12F05	失火継続異常	67F01	水位センサ断線故障
15F00	起動異常	67F04	改質水ライン水張り異常
17F00	バイメタルサーモスタット作動	68F00	原燃料入口電磁弁駆動回路異常
19F00	漏電・過電流ブレーカ保護作動	68F01	原燃料入口電磁弁異常
20F00	冷却ファン故障	70F00	インバータ通信異常
30F00	改質入口温度センサ故障	70F01	インバータ連系パラメータ受信異常
30F01	改質入口温度高温異常	72F01	給湯器ラインまたはインバータ異常
30F02	改質入口温度低温異常	72F03	自立出カリレー固着警告
30F03	改質入口温度センサ不定故障	72F04	自立出カリレー固着異常
40F00	燃焼部#1温度センサ故障	72F05	給湯器電源リレー系統側固着異常
40F01	燃焼部#1温度高温異常	72F06	給湯器電源リレー系統側固着異常
40F02	燃焼部#1温度低温異常	73F00	凍結防止ヒーター動作警告
40F03	燃焼部#1温度センサ不定故障	76F00	セット構成給湯器通信異常
42F00	モジュール温度センサ故障	76F01	後付構成用発電連係リモコン通信異常
42F01	モジュール温度高温異常	76F02	リモコンアンマッチ
42F02	モジュール温度低温異常	76F03	リモコン電源電圧低下異常
42F03	モジュール温度昇温異常	77F00	改質水ポンプ駆動回路異常
42F04	モジュール温度センサ不定故障	77F02	制御装置可燃ガスセンサ増幅回路異常
43F00	燃焼排ガス温度センサ故障	77F03	制御装置LPガスセンサ増幅回路異常
		77F04	制御装置パラメータ破損異常

エラー表示について

発電ユニットのエラーコード一覧 (2/2)

表示	故障内容	表示	故障内容
77F05	FCメンテデータ差異異常	C2F00	スタックトータル電圧未確立
77F06	FCパラメータ差異異常	C4F00	直流不足電圧検出
77F08	原燃料流量計通信異常	C5F01	インバータDC/DC部温度高温異常
77F09	カソードエア流量計通信異常	C5F02	インバータDC/AC部温度高温異常
77F10	原燃料流量計測値フリーズ異常	C5F03	インバータ低温警告
77F11	カソードエア流量計測値フリーズ異常	C5F04	インバータ高温異常
78F15	直流ヒーター過電流警告	C6F01	EEPROM異常
79F00	コントローラスイッチ部短絡故障	C7F00	ハードウェア故障
80F00	排熱回収水入口温度センサ故障	C7F01	インバータ温度センサ故障
80F01	排熱回収水入口温度高温異常	C7F02	連系リレー故障
81F00	排気熱交換器内温度センサ故障	C7F04	24V補機電源電圧上限異常
81F01	排気熱交換器内温度高温異常	C7F05	24V補機電源電圧下限異常
81F02	排気熱交換器内温度低温異常	C7F06	24V補機電源通電警告
82F00	排熱回収水出口温度センサ故障	C7F07	2.5V補機電源電圧上限異常
82F01	排熱回収水出口温度高温異常	C7F08	2.5V補機電源電圧下限異常
82F02	排熱回収水出口温度低温異常	C7F12	5V補機電源電圧上限異常
83F00	補機室上部温度センサ故障	C7F13	5V補機電源電圧下限異常
83F01	補機室上部温度高温異常	C7F14	スタック電流通信異常
85F00	水道水温度センサ故障	C7F15	商用電流回路異常
86F00	混合湯温度センサ故障	C7F17	インバータソフトウェアバージョン異常
86F01	混合湯温度高温異常	C7F23	自立周波数不確定異常
86F02	水道水温度センサ/混合湯温度センサ精度異常	C7F25	自立構成異常
86F03	混合湯温度低温異常	C7F26	自立発電電圧不安定異常
88F00	自立ヒーター温度センサ故障	C7F27	自立発電電圧不安定警告
88F01	自立ヒーター上部温度高温異常	C7F28	自立出力準備中シーケンス異常
89F00	自立トランス温度センサ故障	C9F00	インバータ入力過電流
89F01	自立トランス高温異常	E0F00	商用電流検出異常(誤配線)
93F00	停止時間タイムアウト	E1F00	CT自動補正不能
95F00	改質水タンク水量不足またはフロートスイッチ故障	E4F00	商用電流検出異常
A0F00	原燃料供給圧低または圧力センサ故障	E7F00	N相過電流異常
A0F01	管内圧力異常	F0F00	系統過電圧警告
A1F00	原燃料供給圧高	F1F00	系統不足電圧警告
B0F00	ホットモジュール高温状態検出	F2F00	系統周波数上昇警告
B0F02	改質触媒高温状態	F3F00	系統周波数下降警告
B1F02	水張り時エア抜き警告	F4F00	単独運転受動方式検出
B4F01	点火ヒーター連続通電時間オーバー	F5F00	単独運転能動方式検出
B6F00	パソコン通信異常	F6F00	系統瞬時過電圧
B8F00	改質水タンク水無し状態検出	F7F00	直流過電圧検出
B9F00	貯湯ユニット水無し検出	F7F01	リンク不足電圧検出
C0F00	スタックトータル電圧低下	F7F02	リンク過電圧検出
C0F01	暖機時スタックトータル電圧低下	F7F03	出力電流直流分流出検出
C0F02	コンバータ過電流警告	F7F05	インバータ側通信異常
C0F03	直流リンク過電圧警告	F7F06	瞬時過電流
		F9F00	逆潮流検出
		01900	マイコンメータ内管漏洩警報

エラー発生時の処置方法について

エラー発生時の処置方法について

- リモコンにエラーコード「**F**」を表示します。
エラーコードの表示が「**F**」ではない場合は熱源機側の不具合です。熱源機の取扱説明書を参照ください。
- リモコンに下記エラーコードが表示された場合、処置方法に従い処置を行ってください。
- 下表以外のエラーコードについては、ガス会社または販売店にご連絡ください。
- エラーリセット（異常解除）の方法
リモコンのON/OFFスイッチを一度押して「OFF」にしてから、再度押して「ON」にします（14ページ参照）。
- 停止工程に10～12時間かかります。
エラーをリセットしても、停止工程が終了するまで再起動しません。

警告

- お客さま自身で部品の点検・調整はしないでください。

感電・火災・水漏れの原因となります。



禁止

- 機器の異常に気付いたときは、メンテナンス会社もしくは、ガス会社または販売店に連絡してください。

異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。



確認

表示	故障内容	原因	処置方法
01F00	・通常停止回数警告	起動停止の回数が多すぎます。	このまま使用を継続されますと、故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外となる場合がありますので、ガス供給事業者にご連絡ください。
01F01	・シャットダウン回数警告		
03F00	・ホットモジュール起動許可条件成立待ち	発電ユニットが高温であるため起動できません。	冷却されるまでお待ちください。
03F03	・シャットダウン後起動許可時間タイムアウト	起動時にアラームが発生したが、モジュール内部が高温のため、自動再起動ができない。	冷却されるまでお待ちください。
03F05	・改質水タンク補給回数警告	改質水補給回数が設定回数を超えた。	ガス会社または販売店にご連絡ください。
03F06	・水抜き状態時起動警告	水抜き、水張りが中止された状態で発電ユニットの起動操作が実施された。	発電禁止操作（18ページ参照）を行い、エラーをリセットし、水張り（21ページ参照）を実施後、発電ユニットを起動（16ページ参照）してください。
05F00	・メンテナンス時間超過	定期交換部品の交換が必要です。	ガス会社または販売店にご連絡ください。
05F01			
05F03			
05F04			
08F00	・自立運転保護動作	電力使用量が少ないため、保護停止しています。	給湯および電力使用量が350W以上必要です。
08F03	・自立時過負荷検出	電力使用量が700Wを超えています。	リモコンの表示内容に従ってリモコン操作を行ってください。 1時間経過しても起動しない場合は、ガス会社または販売店にご連絡ください。

エラー発生時の処置方法について

表示	故障内容	原因	処置方法
10F00	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常 ・可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常 	発電ユニット内部でガス漏れが発生した場合、もしくは発電ユニット外部から自動車の排気ガスなどの可燃性ガスが流入した場合に、ガスを検知して停止しています。	ガスの供給を遮断していますが念のため発電ユニット専用ガス栓を閉じて、ガス会社または販売店にご連絡ください。
10F10			
10F01			
10F11			
15F00	<ul style="list-style-type: none"> ・起動異常 	着火、燃焼不具合で一定時間内で発電することができなかった。	翌日（発電ユニット内の温度が下がってから）再起動してください。
17F00	<ul style="list-style-type: none"> ・バイメタルサーモスタット作動 	断水している可能性があります。	給水されていることを確認後、発電ユニットの水張り操作を実施してください。異常表示が消えない場合はリセットしてください。再発する場合は、ガス会社または販売店にご連絡ください。
81F00	<ul style="list-style-type: none"> ・排気熱交換器内温度センサ故障 	断水している可能性があります。	給水されていることを確認後、発電ユニットの水はり操作を実施してください。異常表示が消えていない場合はリセットしてください。再発する場合は、ガス会社または販売店にご連絡ください。
81F01	<ul style="list-style-type: none"> ・排気熱交換器内温度高温異常 		
81F02	<ul style="list-style-type: none"> ・排気熱交換器内温度低温異常 		
82F00	<ul style="list-style-type: none"> ・排熱回収水出口温度センサ故障 		
82F01	<ul style="list-style-type: none"> ・排熱回収水出口温度高温異常 		
82F02	<ul style="list-style-type: none"> ・排熱回収水出口温度低温異常 		
A0F00	<ul style="list-style-type: none"> ・原燃料供給圧低または圧力センサ故障 	ガス栓が閉まっているか、ガスメーター（マイコンメーター）が遮断されています。	ガス栓が閉まっている場合は、ガス栓を開けてください。ガスメーター（マイコンメーター）が遮断している場合は、ガスメーター（マイコンメーター）を復帰させてから、リモコンでエラーをリセットしてください。操作方法がわからない場合はガス会社または販売店までご連絡ください。
E0F00	<ul style="list-style-type: none"> ・商用電流検出異常 	購入電力の検出に異常がある可能性があります。	ガス会社または販売店にご連絡ください。
E4F00	<ul style="list-style-type: none"> ・商用電流検出異常 		
F9F00	<ul style="list-style-type: none"> ・逆潮流検出 		

長期間使用しない場合

- 旅行等のため、10日以上使用しないときは、リモコンで「不在停止」にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は18ページを参照ください。）
- 1ヶ月未満で不在にされる間に凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、発電ユニットの本体ブレーカを切らないでください。
- 1ヶ月以上不在にされる場合は、下記の発電ユニット水抜き手順に従い水抜きを実施してください。水抜きをしないと故障の原因となります。（お手数ですがお客さまで実施ください。）
- 1ヶ月以上使用しない場合は、発電ユニットと熱源機の水抜きを必ず実施してください。手順は熱源機の取扱説明書をご参照ください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス会社または販売店にご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2～3日前までに前もってガス会社にご連絡ください。

■ 発電ユニットの水抜き方法

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

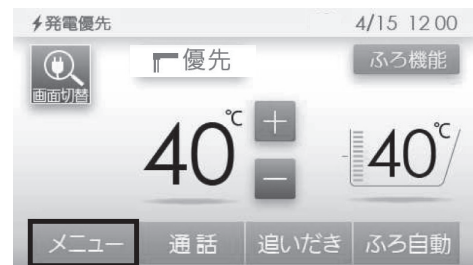
場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



発電ユニット水抜き手順

②メイン画面よりメニューを選択してください。

①リモコンをOFFにし（ON/OFFスイッチ部のLEDランプを消す。）液晶画面部をタッチする。



③メニュー画面より音・その他メニューを選択してください。



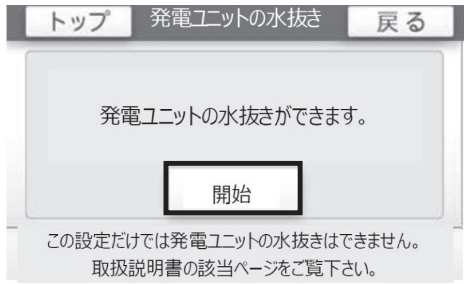
④音・その他メニュー画面より発電ユニットの水抜きを選択してください。



次頁に続く

長期間使用しない場合

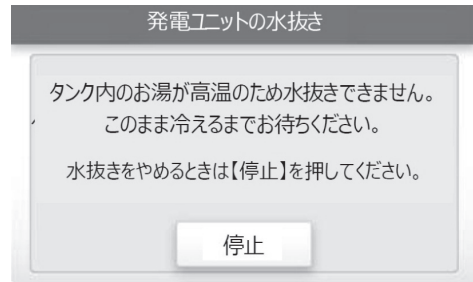
⑤開始ボタンを押してください。



タンク内
高温時



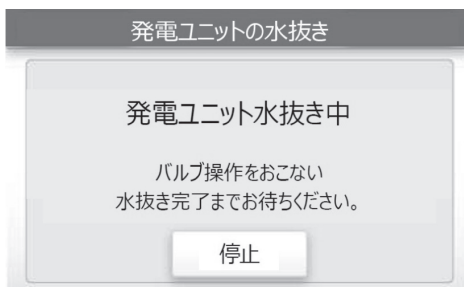
※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
停止を押すと停止画面に移行します。



タンク内部温度冷却後



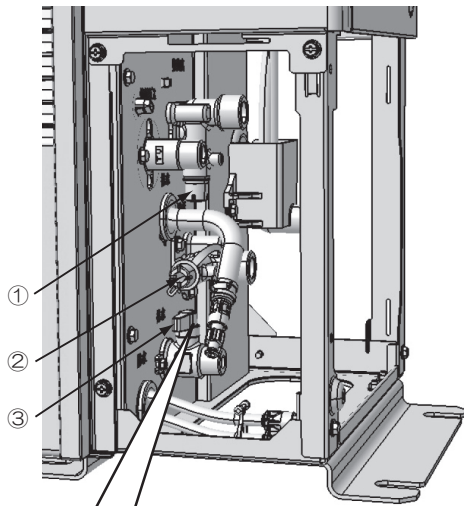
⑥タンク内低温時



水抜きが完了すると、メイン画面に自動的に移行します。

※ 30分経過しても水抜きが終了しない場合は、水抜きを中止し、各バルブ確認後再度①より実施してください。

水抜きを停止したい場合は停止ボタンを押すと、⑫に移行します。



内部配管の水抜き

～発電ユニット右側面部～

① 熱源機向き側のエア抜き栓を開ける。

熱源機向き

② 給水側のエア抜き栓を開ける。

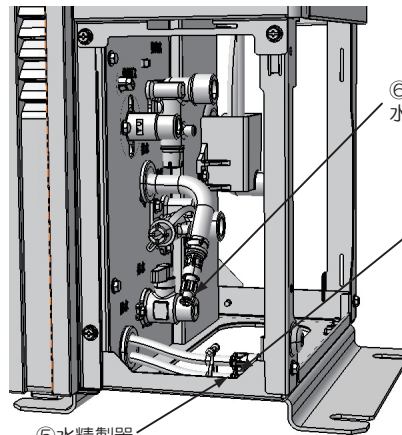
給水

排水

③ タンク排水バルブはゆっくりと開ける。

改質水タンク、水精製器の水抜き

～発電ユニット正面～
(下部拡大図)



⑥ 補水用水精製器
水抜きプラグ

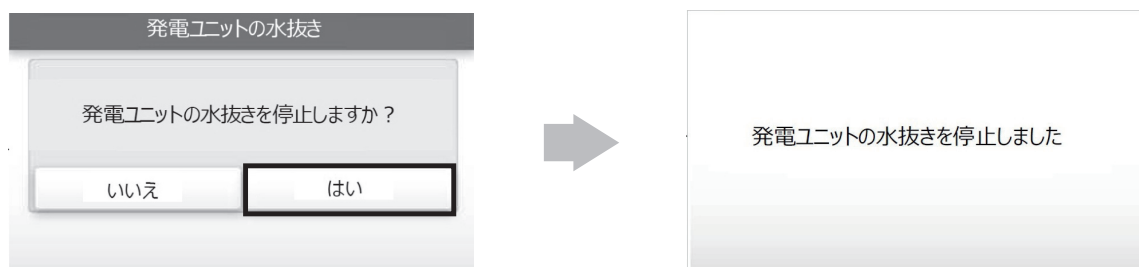
④ 改質水タンク
水抜きプラグ

⑤ 水精製器
水抜きプラグ

長期間使用しない場合

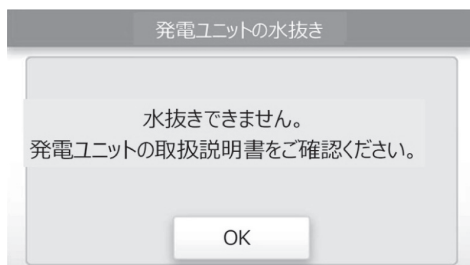
- ⑦下記バルブの操作をしてください。
- ・給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、発電ユニット内部の機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
 - ・熱源機往き配管のメンテ用バルブを閉じます。
 - ・③タンク排水バルブを開けます。
 - ・②給水側、①熱源機往き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ⑧④改質水タンク水抜きプラグと⑤水精製器水抜きプラグ、⑥補水用水精製器水抜きプラグの計3ヶ所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。
(全て排水されるまで、約10分かかります。)
- ⑨水抜き完了後（メイン画面が表示される）ホースから水が出なくなったことを確認し、④、⑤、⑥の水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。
- ⑩②給水側（下側）、①熱源機往き（上側）のエア抜き栓を閉め、③タンク排水バルブを閉めます。
- ⑪ガス栓のバルブを閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを「OFF」にします。

⑫水抜き途中停止方法



「いいえ」を押すと前の画面に戻ります。

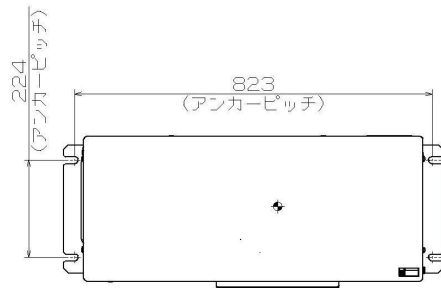
※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



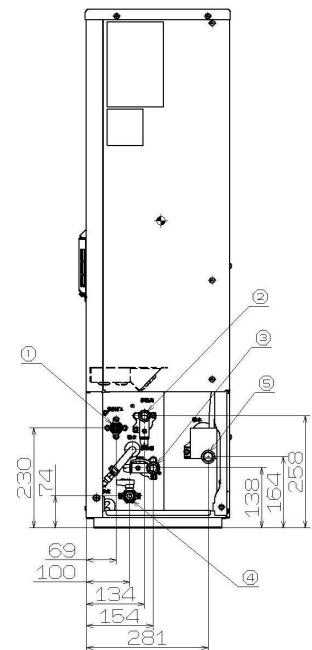
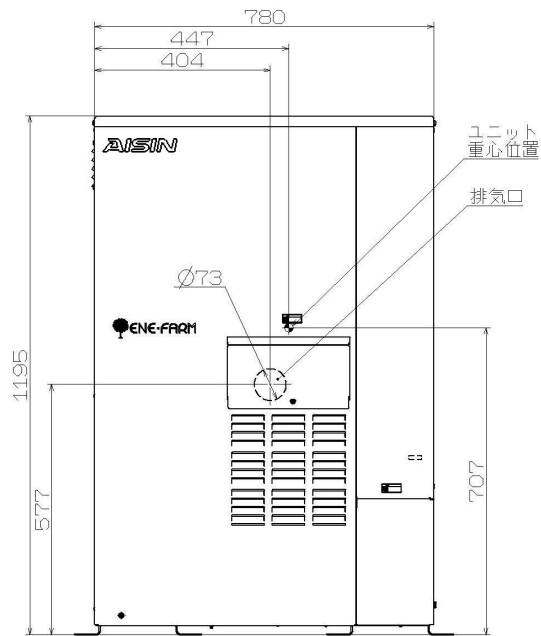
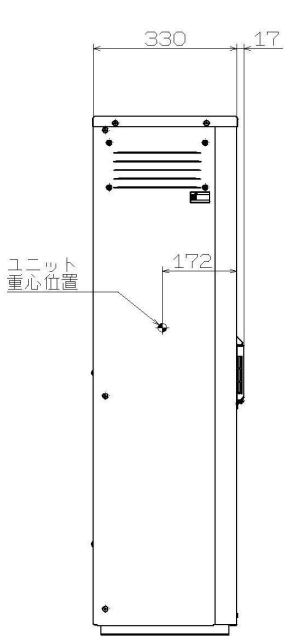
水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。
発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス会社または販売店にご連絡ください。

外形図



記号	名称	接続
①	ガス接続口	TU(R1/2おねじ)
②	熱源機行き接続口	R3/4(おねじ)
③	給水接続口	R3/4(おねじ)
④	タンク排水接続口	R1/2(おねじ)
⑤	ドレン排水接続口	QF16ジョイント



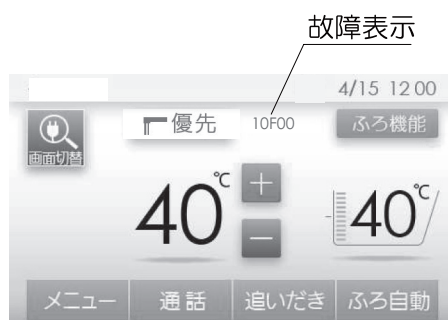
アフターサービスと保証について

修理を依頼するとき

修理を依頼される前に、34～35ページの「故障・異常かな?と思ったら」の項目を見て、今一度ご確認ください。不具合があるときはご自分で修理せず、ガス会社または販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 商品コード FCCS07B1**
2. 品名 エネファーム type S
(燃料電池ユニット)
3. ガス種 都市ガス(13A) / LPG
4. お買い上げ年月日
5. 故障の状況 できるだけ詳しく(故障表示など)
6. ご住所、お名前、電話番号
7. 訪問ご希望日



保証について

- この発電ユニットには保証書がついています。必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されていることを確認してください。
- 保証書の内容をよくお読みになった後は大切に保管してください。
- 無償修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有償で修理いたします。

引越しまたは機器を移設する場合

発電ユニットを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。移設工事はお買い上げの販売店に依頼し、お客さまご自身ではなさないでください。

- 引越しなどで発電ユニットを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、前もってお買い上げの販売店にご相談ください。
- 発電ユニットを廃棄する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

補修用性能部品について

発電ユニットの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。

- 性能部品とは製品の性能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスと保証について

熱源機を買い替える場合

- 熱源機との組合せによっては安全・性能が担保できずやけど等の事故が発生する可能性があります。
- 熱源機を買い替える場合は必ずガス会社または販売店にご相談ください。

MEMO

エネファーム Type S 燃料電池ユニット保証書

このたびは、アイシン エネファーム Type S 燃料電池ユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品につきまして、本保証書記載の内容により、保証させていただきます。

1. 保証期間

お買い上げ日より2年間

2. 保証の内容

保証期間中に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で調整または修理いたします。

3. 保証の範囲

保証については、上記2の内容に基づいて行いますが、機器の故障による機器本体以外の損害については、保証いたしません。

4. 保証できない事項

次の事項は保証期間内であっても保証いたしません。調整または修理を行う場合は、有料となります。

- (1) 使用上の誤り、または改造および不当な修理による故障または損傷。
- (2) 試運転引渡し後の周囲環境の変化や据付け場所の移動、落下、輸送等による故障または損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、雷、異常気象、その他の天変地異ならびに公害、塩害、煤煙、降灰、酸性雨、薬品、腐食性ガス等の有害ガス、異常電圧、異常電磁波、異常燃料ガス圧、生物類の侵入等の外部要因による故障または損傷。
- (4) 当社純正部品以外の部品および指定する燃料ガス、精製水、供給水以外のものを使用したために生じた故障または損傷。
- (5) 車輛、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障または損傷。
- (6) 機器を海外に持ち出された場合。
- (7) 保証開始日の記入がない場合あるいは、販売者の訂正印なしで、書き替えられている場合。
- (8) 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など製品の仕様範囲内の感覚的な現象の場合。
- (9) 不適切なシステム設計および据付工事の不具合により生じた故障または損傷。
- (10) 本書のご提示がない場合。
- (11) 水道管の錆など異物の流入による故障および損傷。
- (12) 電気事業法で定められた電圧以外の使用環境で使用したことによる故障および損傷。
- (13) 機器故障に伴う発電量損失や関連して発生したお客さまの損失（ガス、電気、水道代など）に対する補償。
- (14) 機器内記録データの損失復旧。
- (15) 組合せの対象となる熱源機以外でご使用された場合。
- (16) 業務用の場所（飲食店、理美容院、事務所、工場等）でご使用された場合。

5. その他

- (1) 当社の指定するサービス会社等が調整・修理を実施することがあります。
- (2) 遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- (3) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- (4) 無料修理により、取り外した部品は全て当社の所有になります。
- (5) 保証書の販売店（保証履行者）、保証開始日等のもれがないか、ご確認ください。
- (6) 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7) 修理内容は修理伝票等にて代替します。
- (8) お客さまから取得した個人情報については、本保証書による保証を実施する目的で利用します。

サービスをお受けになる時は、この保証書をご提示ください。

<販売店（保証履行者）>

<製造者（保証責任者）>

アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
TEL (0566)-63-5741

	型 式	製造番号	ガス種
エネファーム Type S 燃料電池ユニット	FCCS _____		都市ガス ・ LPガス
保 証 期 間	お買い上げ日（ 年 月 日 ）より2年間		